

水 産 の 窓

長期漁海況予報（令和8年8月～12月の予測）について

令和8年7月29日～30日に令和8年度第1回太平洋いわし類・マアジ・さば類長期漁海況予報会議が開催されました。予報対象海域に関係する水産関係試験研究機関が参加・検討し、国立研究開発法人水産研究・教育機構がとりまとめ、予報文が8月3日に公表されましたのでお知らせします。内容の詳細については本文を参照ください。（水産機構 HP: https://www.fra.go.jp/home/kenkyushokai/press/pr2026/fri_20260803_ukiuo-pac-1st.html）

1. 海況

(1) 黒潮（潮岬以東）

- ・N型基調で推移するが、9月までは一時的にB型またはC型となる。
- ・遠州灘沖では、接岸傾向で推移する。
- ・9月までは一時的に八丈島の南側を通過する。
- ・房総沖では、擾乱（じょうらん）の東進に伴い一時的に離岸する。

(2) 鹿島灘～常磐南部海域

- ・9月までは冷水域に覆われやすいが、その後は断続的に黒潮系暖水の影響がみられる。

(3) 沿岸水温

- ・房総海域～常磐南部海域は、「やや低め」～「高め」で推移する。

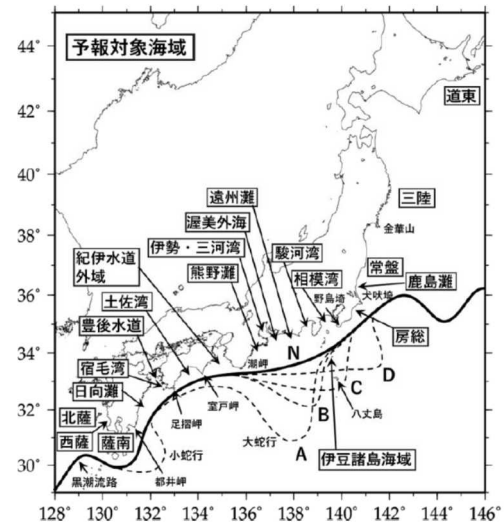


図 予報対象海域および黒潮の流型

2. 漁況

(1) マサバ・ゴマサバ（犬吠埼沖～三陸海域、道東海域：まき網、定置網、底曳網）

- ① 来遊量：マサバはまき網では前年並～下回り、定置網、底曳網では前年を下回る。ゴマサバは混獲される程度。サバ類全体としては低水準。
- ② 漁期・漁場：定置網では期を通じて、底曳網では9月以降に漁獲される。まき網漁場は、8月～10月は道東～三陸南部海域、11月、12月は三陸北部海域～犬吠埼沖に主に形成される。
- ③ 魚体〔尾叉長〕：マサバは20cm～33cm（1歳魚、2歳魚、体重75g～400g）主体に、27cm～28cm（1歳魚、200g～230g）も漁獲される。

(2) マイワシ（房総～三陸海域、道東海域：まき網、定置網）

- ① 来遊量：前年を大きく下回る。
- ② 漁期・漁場：まき網は8月当初は三陸北部海域が主漁場となる。その後、10月まで房総～道東海域は小規模な漁場形成となる。11月、12月は三陸～常磐海域において漁場が形成される。定置網は、各地で期を通じて散発的に漁獲され、12月以降に本格化する。
- ③ 魚体〔被鱗体長〕：14cm以下の0歳魚（体重～30g）、13cm～16cm前後の1歳魚（25g～45g）、15cm～18cm前後の2歳魚（35～65g）、16cm～20cm前後の3歳魚（45g～90g）、17cm以上の4歳以上（55g以上）が漁獲される。

(3) カタクチイワシ（房総～三陸海域、道東海域：まき網、定置網）

- ① 来遊量：房総海域～三陸南部海域および道東海域では前年を上回る。三陸北部海域では前年並。
- ② 漁期・漁場：房総海域ではまき網（主に2そうまき網）、仙台湾～三陸南部海域では定置網により期を通じて漁獲される。三陸北部海域（八戸沖）では2そうまきにより9月以降に漁獲される。房総～常磐海域および道東海域では1そうまきの漁獲対象となる可能性がある。
- ③ 魚体〔被鱗体長〕：5cm～11cm前後の0歳魚（1g～13g）、9cm～13cm主体の1歳魚（7g～22g）が主に漁獲され、11～14cmの2歳魚（13g～27g）が混ざる。（回遊性資源部）